

令和2年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施設の名称	大畑中央公園	
指定管理者	団体名	一般財団法人むつ市教育福祉振興会
	代表者	理事長 花山 俊 春
	所在地	青森県むつ市大畑町観音堂25-1
指定期間	令和2年 4月 1日 ~ 令和5年 3月31日 (3年間)	
指定管理業務の概要	<p>管理業務の目的 むつ市の体育スポーツ振興を図るとともに、生活や文化の向上に寄与することを目的とする</p> <p>管理業務の範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大畑中央公園の施設維持管理に関すること ・大畑中央公園の広報及び利用促進に関すること ・体育並びにスポーツを通して地域住民の健康及び体力の向上のため施設提供に関すること ・上記に掲げるもののほか施設管理上必要と認められる業務に関すること 	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収入合計 (A)	47,705	46,824	▲881
うち利用料金額	2,210	1,138	▲1,072
うち指定管理料	45,405	45,405	0
支出合計 (B)	47,705	45,351	▲2,354
うち人件費	22,654	22,450	▲204
収支差 (A-B)	0	1,473	1,473
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	<p>収入について 計画との増減については、「2. 収支の状況」及び「3. 施設利用の状況」に記載した表のとおりである。</p> <p>施設全体の収入は、前年に比べ1,534,742円減少しており、前年対比は96%である。</p> <p>プールについて、施設休止期間があったことから前年と比べて利用者数は1,740人少なく、利用料収入は315,000円少なかった。特に、7月の利用者が激減した。コロナ禍の行動自粛もあり新たな利用がな</p>		

	<p>い状況である。しかし、9月から11月の利用者数は前年を上回った。</p> <p>野球場については、前年と比べて利用者数は49人多かったものの、利用料収入は20,280円少なかった。新型コロナウイルス感染症の影響のため、大会規模が縮小し大会数が減ったが、個人の利用が多かった。</p> <p>また、自主事業の少年軟式野球大会「第2回あさひな杯」を開催するなど、施設の安全性をアピールして更なる集客に努めた。</p> <p>庭球場について、前年と比べて利用者数は315人少なく、利用料収入は37,980円少なかった。春の大会中止、部活動の休止や自粛もあり中学生の利用が少なく目標に届かなかった。</p> <p>陸上競技場について、前年と比べて利用者数は2,122人少なく、利用料収入は64,510円少なかった。高校生のサッカーリーグ戦の試合数が減少し、毎年行われている少年サッカー大会（1,000人規模）が中止の影響が大きい。</p> <p>支出について</p> <p>事業経費について、燃料費、電気料、水道料は、特にプール施設の休止並びに利用者の減少が影響し未執行となった。また、4月の燃料費は前年に比べて単価が下がったことで支出額の抑制になった。</p> <p>施設の維持管理については、計画的に実施しており、施設設備の安全と性能について適切に実施した。また、当期はプール施設の大きな不具合がなかったこともあり修繕費の予算超過に至らなかった。</p>
--	--

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増減 (②-①)
利用者数	プール	9,000	6,196	▲2,804
	野球場	2,400	1,621	▲779
	庭球場	600	216	▲384
	陸上競技場	4,300	1,598	▲2,702
<p>利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施（<input checked="" type="radio"/>有）・無）</p> <p>意見箱を設置し、利用者ニーズの収集を実施した。また、夏休み期間中アンケートをとるなどして利用状況の確認を行い、自主事業開催時にもアンケート調査を行った。</p> <p>受けた意見等については、全職員で検証することで、改善すべき部分は具体的な対策を持って対応した。</p> <p>利用者からの苦情は、真摯に受けとめ管理者側の真意を丁寧に説明することで理解と協力を得られるよう、誠意を持って対応することを徹底した。</p>				

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収入	支出
スポーツ振興事業・水泳教室	1,004	730	513
スポーツ振興事業・ルネッサメント教室	6	3	38
スポーツ振興事業・少年野球大会	81	31	94
食堂運営事業		263	213

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価（A：優良 B：適正 C：要改善）

評価基準 A（最良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果があった。

B（適正）：計画された業務水準を概ね達成した。

C（要改善）：計画された業務水準を達成できなかった。

評価項目	自己評価	市の評価
(1)施設設置目的の添ったサービス向上に関する取り組み状況		
① 開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
② 施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③ 利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④ 利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組を行ったか。	B	B
(2)利用促進に関する取組み状況		
① 施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
② 潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③ 自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	A	B
(3)効率性の向上に関する取組み状況		
① 施設管理経費を低減するための取組を行い、効果があったか。	B	B
② 収入増を図るための取組を行い、効果があったか。	B	B
③ 職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	A	A
(4)施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
① 施設の維持管理、運営にあたる人員配置は適正であったか。	B	B
② 設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③ 労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④ 利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5)平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
① 利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
② 日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③ 防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④ 利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価

今期は、新型コロナウイルスの影響で混乱が生じた。これからも行動自粛が続くようであるが、早期の回復について期待をしている。

新型コロナ対策として、新型コロナ対応マニュアルを制定し、感染状況による対応を徹底するために、時間を設けて職員間の共通理解を深めた。また、スポーツ庁の示すガイドラインを基に施設の安全、利用者の安全、スタッフの安全に努めてきた。施設の安全を確保するため、施設内の消毒についても実施した。

今期の教育訓練については、外部の講習会等への参加は出来なかったものの、内部の研修は実施した。

計画に基づき消防訓練、救助訓練はもとより、職員の資質向上並びに施設のサービス向上のための従事員研修は適宜実施した。

自主事業については、利用促進に大きく影響している。

緊急事態宣言もあったため、水泳教室は6月の開催は出来なかったが、7月から開催した。3密を避けるため、参加者の定員を縮小した代わりにコマを多くするなど工夫したことで、参加人数はのべ995人になった。中でも女性限定水泳教室の参加者も増えてきたので、今後の活性化につなげたい。

また、防災意識を高める取り組みとして、日本赤十字社青森県支部水上安全奉仕団の協力を得て着衣水泳教室を開催した。

少年軟式野球大会の開催についても、むつ軟式野球連盟の協力を得て実施することができた。1試合ごとに観客スタンド及びダッグアウト内の消毒を実施するなど、感染防止の措置を講じた。

ノルディックウォーキング教室は、年4回の実施を予定していたが、5月並びに6月の実施を見送り、10月に1回実施することが出来た。感染防止対策を行い、参加者からも協力を得て、実施することが出来た。

コロナ禍にあっては、新しい生活の中での工夫と努力をするとともに、これまで当施設を管理してきた経験を活かして、効果的な運営実績を報告できるよう、更なる努力をする所存である。

7. 市の所管課総合評価

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で利用者総数は、過去5年間で最低のものとなったが、新型コロナウイルス感染対応マニュアルを制定し、感染症対策に努めたことは評価できる。また、地震や暴風などの際には施設内を点検し、市への報告も適切に行っており、利用者や職員だけではなく、施設全体の安全管理についても評価できる。
- ・ 団体内での従業員研修の実施や外部講習会への参加を積極的に行い、職員の資質向上の取り組みを行っている点は評価できる。

- ・ 今期は施設内において、重大な事故は発生しなかったが、利用者数が最も多いあさひな丘プールでは、60歳以上の利用者が多いことから、階段やプールサイドでの補助等を積極的に行い安全管理を徹底して続けていただきたい。

なお、プール利用時のスイミングキャップ着用における苦情があった件については、今後は受付の際に声がけを通じて、利用者の誤解を招くことのないよう周知をしていただきたい。

- ・ 自主事業については、新型コロナウイルスの影響で、計画どおりの実施とはいかなかったため、大きな効果は得られなかったと評価する。しかし、多様なスポーツイベントを計画し、利用者増加につながるよう積極的な取り組みを行っており、次年度以降についても引き続き、自主事業の充実を図り、利用者数・利用料増加につながることを期待したい。

- ・ 公園内の設備については、老朽化による危険箇所等は都度報告を受けており、予算計上されたものについては着手できているが、軽微な修繕等については指定管理者で判断し、応急対応できるものについては、指定管理者で安全性の確保を行うよう今後指導・注意していきたい。